

JHF 理事会議事録

日 時： 2013年7月12日(金) 14:00～17:00

場 所： JHF事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

1. 議長・議事録作成人名

議長： 内田孝也 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 内田孝也 大澤 豊 鹿山 登 工藤修二
塩坂邦雄 殿塚裕紀 福永信也 安田英二郎

【監事】 市川 孝 岩村浩秀

（出席理事9名。今理事会は定足数を満たし成立した）

制度委員会（泉委員、井上委員）から公益社団法人についての説明

他委員数名がスカイプにて参加

確認事項：説明の中で「JHFの理事と委員会委員との関係」についての見解があり、JHFの現状では兼務は不適切なことから、6月総会の理事選任時点で、JHF委員会委員の資格は自動消滅したものと確認した（ハングパラ振興委員会：芦川委員長、塩坂委員、殿塚委員、教員・スクール事業委員会：鹿山委員、塩坂委員）

3. 理事・監事のひとこと

※以下役職は審議事項4-1に基づく

大沢理事：パラの日本選手権開催地の立候補、来年のハング日本選手権の立候補も出ました。近くのエリアで揉め事があったようでフライト環境が悪くなったという状態があります。JHFで協力出来ることがあればしていきたいと思います。

塩坂理事：振興委員会をやっていましたが、振興委員会の際はゴールデンウィークの時ハングとパラで801名のふわっと体験をやりました。8月はハングのふわっと体験とタンデムをやります。それから8月に高校生で浅野君を富士山から飛ばすということで、私は環境省、県、静岡市の根回しをして完璧だったのですが、富士山頂は富士山本宮浅間大社の管轄だったので結果としてはお金を払って祈祷してもらい許可を得ましたが、風が秒速8mで残念ながら降りました。またすぐに挑戦します。

安田副会長：最近やったことはパラシュートをリパックしました。

福永理事：パラ歴は19年以上でモーターパラも一昨年からはじめました。モーターパラの空撮もやっていて、最近では香川県PRでうどん県の映像を撮っています。地元では普及活動をしており、映像には皆さんが興味を持っています。

殿塚理事：昨年は振興委員会でした。お手元のDVDは委員会としてパラグライダーの格好よいイメージ映像を作ろうということで作り、パンフレットも作りました。もう少し踏み込んだ形で進められたらと思いきや理事になりました。大沢理事からエリアのトラブルとありましたが、関わってあります。難しい問題があるのですが良い方向に持っていきたいと思っています。

市川監事：監事は3期、理事を1期やりました。6月29日に役所への報告書の提出をしました。

岩村監事：公益法人の会計は複雑で普通の会計と違うのですが、うまく処理出来るようにお手伝いでき

ればと思います。公益事業については黒字にしてはならないということを非常に言われています。期末迄に事業をしてくれないと後の処理が大変かなと思いますので、理事の皆さまもご注意をお願いします。

議長（内田会長）：昨年度の決算全体は黒字で公益事業単独は赤字ではあるのですが、遊休財産の認定が昨年度の決算でもぎりぎり今年にさらに増加だったので何とか基準内で申告しました。

工藤副会長：先日、スイス、フランスに10日間行って来ました。フランスでフライヤーと懇親をし、フライヤー人口が3万人を超えています。パンフレットを貰って来ました。カヌーや登山、自転車、パラグライダーでリゾートになっています。各エリアでもフライト料は全部無料でした。町自体が盛り上がっていました。

鹿山理事：パラグライダーについてはスクールをボランティアでやっています。通学路を撮ってもおりPTAの関係の行事に関心を持ってもらい安全であることもプラスになっています。リパックについても研究していきます。

芦川理事：振興委員長をやっていたのですが、思いがあって理事になりました。少しでも良い方向に持っていく役に立てればと思っています。

議長（内田会長）：毎回JHFの公務で何をしているのか議事録に残るようにしています。6月総会の後は、定期的なものはなかったのですが、学生連盟の理事長がご挨拶に来たのに対応しています。トラブル対応では、埼玉のスクールで自治体から国交省に陳情が挙がったので、安田副会長と現地調査に行きました。6月8日に新潟・鳴倉のJリーグ大会でダミーの人が電線に宙吊りになり、テレビで多く中継された為に国交省でも問題視され対応しました。同じ日に丹沢でハングパイロットがランディング失敗でお亡くなりになったのですがそちらは問題にはならずメディアの差を感じます。電線のことで東北電力から対策のお願いに来られましたので管轄県連に出しました。報告事項に入れてあります。事務局では経理が交替しています。航空協会の評議員をしています。航空協会の航空スポーツ室長が交代しており、スカイスポーツには興味を持っています。

4. 審議事項

審議事項4-1 正副会長の選出について

2013年度の新役員が決まり、JHF定款 第5章第20条（役員を選任）により、正副会長を理事会の決議により会長1名、副会長1名以上2名以内を選出することで審議した。

工藤副会長：新理事会になったことありますが、今迄どおりの会長、副会長に引き続きやって欲しいと思います。

殿塚理事、大沢理事：賛成です。

塩坂理事：総会の正会員投票で得票数がありましたが、説明がしやすいのでそれを尊重すべきだと思います。

安田副会長：総会の得票数は、総会で会長、副会長を決める訳ではないので関係ありません。

議長（内田会長）：塩坂さんは総会の得票数を参考にしたいということです。安田さんは、総会の得票数は、総会はその場ではないのでおかしいということです。

塩坂理事：それで決めるとは言っていない。私が一理事としてそれを参考にするとおっしゃるので、

皆さんそうしてくださいと言っている訳ではありません。

芦川理事：立候補する方はいないのですか。

議長（内田会長）：では、会長が内田、副会長が安田さんということで賛否を取ります。

採決の結果、【賛成8 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、大沢、鹿山、工藤、塩坂、殿塚、福永、安田

議長（内田会長）：JHF定款では理事の内、会長1名、副会長1名以上2名以内が決められます。制度委員会から説明がありましたが、法的にも行政的にも色々な面で代表理事になります。代表として会長、副会長は会長が先頭、副会長が次になり、2名になった時には3名の代表理事になりますが、副会長2名の内にどちらが先に会長の代理権を持つか、副会長の順位も必要になります。安田副会長が第一番目の副会長でよいと思います。次のプライオリティーの副会長を選ぶかどうか、必要かどうかについてご意見をお願いします。

岩村監事：例えば会長が海外に行ったとして、行っている間に通常の業務が出来ない前提で、次の副会長が業務執行することになります。そういうケースもあるのであればお二人よりは三人の方が安全だとは思いますが。

市川監事：副会長にも代表権があるので対外的な契約書にも判子を押してしまうので、内田会長も心配していましたが、昔そういうことがあり、あまり副会長を増やしたくないということもあるとは思いますが。

安田副会長：以前はひどいことがあったのでその反省で二度とそういうことがないようにと思います。

工藤副会長：大沢さんにやって欲しいと思います。

安田副会長：会長と一緒にメールが来るので、問題があった時にどうしましょうかということですね。

市川監事：会長が一人でお忙しいのであればJHF主催の大会に行く際に、代行できる方がいてくれた方がよいと思います。

芦川理事：代表理事の職務がどの位あるかが見えていないということもあります。

殿塚理事：この6年位の間、どの位の必要性があるかとか。

岩村監事：業務執行について勝手に副会長がやってしまうと、ルールの問題になるので、例えば代表印の管理をどうするかで、例えば会長がいない時に替わる等もあります。

大沢理事：今代表印は金庫の中にあって事務局長だけが開けられることになっていますから。

議長（内田会長）：監事から昔の懸念もあるけどきちんと運営出来ているのであれば、必要人数を持ったらどうでしょうということで、副会長を2名にするということで議決します。

採決の結果、【賛成5 反対1 棄権2】で可決された。

賛成： 工藤、安田、鹿山、殿塚、福永

反対： 芦川

棄権： 大沢、塩坂

議長（内田会長）：では、どなたに副会長をやっていただくか。

工藤副会長：大沢さんお願いします。

大沢理事： 工藤さんお願いします。

議長（内田会長）：では他にはございませんか。どちらかに手を挙げてください。

工藤さん 2名 大沢さん 3名

安田副会長：外から見た目で、代表理事が3人ともハングフライヤーになってしまうのはどうかとも思っています。

議長（内田会長）：では、今の意見を踏まえて、工藤さんはパラグライダー関係者ということで、再度手を挙げてください。

工藤さん 3名 大沢さん 3名

議長（内田会長）：では同点ですので、ハングだけの代表理事になってしまうということで、私が工藤さんに入れるということで、工藤さんが副会長でお願いします。

会長 内田孝也 副会長 安田英二郎 工藤修二 で決定しました。

審議事項4-2 パラグライディング世界選手権日本チームの承認について

国際大会への日本選手権選考方法に則り、7月13日から第13回FAIパラグライディング世界選手権（ソポト・ブルガリア）、8月17日からの第7回FAIパラグライディングアキュラシー世界選手権（サラエヴォ・ボスニアヘルツェゴビナ）の日本代表チームメンバーを競技委員会が下記のように決定しました。日程の関係で直前の承認になり、既に航空協会等に申請を出しています。ご承認をお願いします。

●パラグライディング世界選手権 日本代表チーム5名

呉本圭樹 上山太郎 成山基義 伊藤弥生 中川喜昭

チームリーダー 岡 芳樹

（追加派遣選手 平木啓子）

●パラグライディングアキュラシー世界選手権 日本代表チーム7名

岡 芳樹（兼チームリーダー） 横井清順 古賀光晴 吉富周助

古田岳史 伊藤まり子 内田 薫

採決の結果、【賛成8 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、大沢、鹿山、工藤、塩坂、殿塚、福永、安田

審議事項4-3 パラグライディング日本選手権開催地の承認について

総会時点では候補地がなかったのですが、茨城県の足尾エリアから立候補があり申請になっています。実績のあるエリアということで、パラグライディング競技委員会も承認していますので、審議をお願いします。

工藤副会長：地元の揉め事は大丈夫なのですか。

大沢理事：ハングのランディングが少し困った状態なのですが、パラのランディングやクロカンには問題はないと思います。

殿塚理事：一部の地主さんと軋轢が生じていることがあります。問題になっている所から外れているように配慮されているので、競技委員長も認識しています。いくつか係争中の場所があるので、個人的には正直には賛成しかねます。

安田副会長：日本選手権を開催したらまずいのですか？

殿塚理事：フライト云々についても埼玉のお話が出ましたが、よくない感情を抱いている地主さんがいて、ハングと言っていました。その様な行為がどれだけ許容されるか、どこまで波及していくかが不安ではあります。

福永理事：どこのエリアでもあることだとは思いますが、日本選手権を開催することによってエリアがクローズになるとか影響がJHFにも出る可能性があるなら払拭しないと駄目ということですか。

殿塚理事：日本選手権がどう影響するかは分からないのですが、説得しきれないのが正直な所です。

内田会長：その辺りの話は理事会の後でも続けてもらうこととして、理事会としては日本選手権はJHFが主催することになりますので、この申請についてはPG競技委員会から理事会に提出されていますので、認めるかどうかの決議になります。

芦川理事：何度も開催をしている所でエリアとして運営出来るキャパシティを持ってますし、問題はあるかも知れませんが、注意してやってもらうしかないですね。

安田副会長：極力地元でうまくやってもらうということで賛成をするしかないと思います。

議長（内田会長）：では、足尾エリアでパラグライダー日本選手権を開催することで承認をお願いします。

採決の結果、【賛成7 反対1 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、大沢、鹿山、工藤、塩坂、福永、安田

反対： 殿塚

5. 協議事項

5-1 理事の職務分担について

協議により、各理事の職務分担を下記に決めました。

※内田はすべての項目を担当

予算編成	安田・工藤
渉外・広報・出版	芦川
国際技能記章	大沢
レジャー航空無線	大沢・芦川
CIVL 海外	殿塚・芦川
普及事業	塩坂・殿塚・鹿山

常設委員会

PG 競技委員会	大沢・工藤
HG 競技委員会	大沢・工藤
補助動力委員会	福永・鹿山
教員・スクール事業委員会	塩坂・鹿山
安全性委員会	安田・大沢・芦川・工藤
制度委員会	安田・工藤
ハングパラ振興委員会	芦川・殿塚・福永

5-2 スカイスポーツシンポジウム委員について

一般社団法人日本航空宇宙学会より第19回スカイスポーツシンポジウム協賛のお願いがあり、協賛します。実行委員として殿塚理事を推薦します。

5-3 電磁的手段による理事会について（文書理事会のルール）

内田会長より、文書理事会の開催ルール説明とお願いをした。

5-4 理事会への遠隔参加（ウェブ会議）について

芦川理事よりウェブ会議導入のメリット等の説明があった。準備の承認がされて機材を購入し8月8日に接続テストを行い、9月理事会はウェブ会議での参加可能の予定です。

5-5 パイロット証所持者講習の委員会への諮問について

総会での意見集約により、ハンググライダー、パラグライダーのパイロット証を一定期間より昔に取得したフライヤーを対象に、集合教育の受講をしてもらう施策について、課題、全体像の最適化を複数委員会合同で検討してもらう諮問を発します。

6 報告事項について 下記それぞれ以下のとおり報告された。

- 6-1 東北電力からの申し入れ（お願い）について
- 6-2 スポーツ振興くじ助成金の追加募集について
- 6-3 フライヤー会員登録・技能証発行実績
- 6-4 2014年度ハンググライディング日本選手権

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）

理事

芦川雄一郎 印

内田孝也 印

大沢 豊 印

鹿山 登 印

工藤修二 印

塩坂邦雄 印

殿塚裕紀 印

福永信也 印

安田英二郎 印

監事

市川 孝 印

岩村浩秀 印

議事録作成人：桜井加代子